

ウェルビーイングを促進する新たなオフィス環境が本格始動

～集中と対話、リフレッシュを大切にし、日常と非常時への備えを両立するオフィスへ～



本社受付ほか、刷新後のオフィス内装

KDDI エンジニアリング株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：寺尾 徳明）は、**入社時のコミュニケーションの質向上や心身の健康を支える働きやすい環境づくりを目的に、本社オフィス環境の整備を進め、2026年4月より本格的な運用を開始しました。**これにより、「集中」「対話」「リフレッシュ」を大切にするとともに、日常から非常時までを見据えた安心・安全な職場づくりを進め、ウェルビーイング向上を通じた、価値創造と持続的成長を目指します。

なお、本社オフィスを刷新するにあたっては、通信や電気設備に関する当社の技術と知見に加え、空間全体のコンセプト設計や内装までを一貫して手がけました。本件は、当社にとって初となるオフィスデザイン設計マネジメント（内装）実績であり、今後のオフィスソリューション事業展開に向けた取り組みの一環としています。



■ 集中して業務に取り組める環境と設備

全席にモニターを配備し、集中して業務に取り組める環境を整えています。さらに、通信や電気設備に関する当社の技術と知見を活かし、働き方に応じた照明ゾーニングや使い勝手に配慮したコンセント配置を実現しました。加えて、サイネージによる全組織向けの情報発信やネットワーク環境の整備により、業務品質の向上を支えています。

■ 対話が生まれる職場設計

部署や立場を超えて対話しやすい環境を整えるため、オープンスペースに加え、さまざまなミーティングスペースを整備。日常的なコミュニケーションから業務上の対話まで、従業員同士のつながりを育む職場環境を目指しています。業務内容や目的に応じて最適な環境を選びながら、フレキシブルに働くことが可能です。



■ リフレッシュと交流をかなえる空間づくり

業務の合間や定時後にも気軽に利用できるフリースペースやパントリーに加え、リフレッシュや交流を促す設備（ダーツ）を設置。職場に親しみと一体感が生まれる環境を大切にしています。

■ 日常と非常時への備えを両立するオフィス環境

日常だけでなく、非常時においても、従業員の安心・安全を第一に考え、また通信インフラを支える企業として、備蓄品や災害対応用の設備を常備しています。これらの物品は専用の保管庫に頼らず、執務スペース内の椅子の下などを活用する工夫を施し、執務フロアを効率的に活用しながら、快適性と機能性を確保した執務環境を維持しています。



当社は今後も、社員のウェルビーイングを促進する職場環境づくりに継続して取り組んでいきます。

以上

【KDDI エンジニアリング株式会社について】

KDDI エンジニアリングは、通信インフラを建設から運用・保守までワンストップで担い、培った技術でさまざまな社会課題の解決に貢献し続けます。

「『つながる安心』をカタチにする」を「VISION 2030」として掲げ、「技術力」と「実現力」で通信を核としたさまざまな視点から社会を支え、「いつでもどこでも、誰とでもつながる」そんな日常を守りながら、安心して快適な未来をカタチにします。

企業 HP : <https://www.kddi-eng.com/>